

様式第1号（第8条関係）（A4）
(その1)

り災状況申告書

[年月日]

大阪市

消防署長様

申告者 住 所

氏 名

電話番号

り災年月日

[年月日]

り災建物(物件)

所在地、名称

区

丁目

番

号

階

号室

り災世帯員

氏名	続柄	年齢	氏名	続柄	年齢

火災保険契約状況

保険会社名	契約年月	保険金額	
		不動産	動産
	年 月	万円	万円
	年 月	万円	万円
	年 月	万円	万円

注意事項

- この申告書は、消防法第34条に基づき提出を求めるものです。
- この申告書は、特別な場合を除いて、受取ってから5日以内に提出して下さい。提出されないときは「り災証明書」の発行が遅れる場合があります。

(その2)

建物、構築物、車両、船舶、航空機のり災状況表						
建 物	造 舐 張 階建 地下 階					
	建築面積	〔 m ² 〕	延べ面積	〔 m ² 〕	用途	〔 〕
	占有延べ面積	〔 m ² 〕		占有部の用途	〔 〕	
	建築年月	〔 年 月 〕		建築金額	〔 円 〕	
	購入年月	〔 年 月 〕		購入金額	〔 円 〕	
構築物	増改築等年月	概 要			箇所面積等	金額
	〔 年 月 〕	〔 〕			〔 〕	〔 円 〕
	〔 年 月 〕	〔 〕			〔 〕	〔 円 〕
物 件 名	経過年数	構造、数量、面積等			金額	
〔 〕	〔 年 〕	〔 〕			〔 円 〕	
車 両	運転者名	〔 〕		車種、用途	〔 〕	
	車名、年式	〔 〕		排気量	〔 cc 〕	
	購入年月	〔 年 月 〕		購入金額	〔 円 〕	
船舶 ・ 航空機	船(機)長名	〔 〕		船(機)名	〔 〕	
	船(機)種、用途	〔 〕		総トン数、定員数	〔 トン 〕	
	建(製)造年月	〔 年 月 〕		購入金額	〔 円 〕	
購入年月	〔 年 月 〕		船(機)籍	〔 〕		
その 他	物 件 名	数量、面積等	金額		物件との関係	
	〔 〕	〔 〕	〔 円 〕		〔 〕	
	〔 〕	〔 〕	〔 円 〕		〔 〕	
記入要領						
○建物「用途」	住宅、店舗、住宅兼店舗、工場等、り災前に使用していた用途を記入してください。					
「占有延べ面積」	建物の所有者ではなく、占有者で占有部分に対して改築等を施し、その部分に損害を被った場合に記入してください。					
「建築金額」	「購入金額」判明している場合のみ記入してください。					
「増改築等」	改築、増築、改修、改裝等を施している場合に記入してください。					
○構築物「物 件 名」	塀、看板、配電用木柱等の別とその構造等を具体的に記入してください。					
○車 両「車種、用途」	自動車車両は、貨物車、乗用車等の別を、鉄道車両は、普通鉄道、地下鉄等の別を記入してください。					
○船舶、航空機「船(機)種、用途」	船舶は、旅客船、貨物船、はしけ等の別を、航空機は、旅客機、遊らん機等の別を記入してください。					
○その他「物 件 名」	屋外の物件等を記入してください。					
「物件との関係」	所有者、管理者の別を記入してください。					

(その3)

(その4)

(その5)

物 品 の り 災 状 況 表										
品 名			焼けたもの、熱で変形したもの、煙で汚れたもの			消火により、ぬれたもの、破損したものなど			持ち出し等により破損したものなど	
			数量	購入金額 円	使用 年数	数量	購入金額 円	使用 年数	数量	購入金額 円
そ の 他	51	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
	52	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
	53	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
	54	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
	55	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
	56	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
	57	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
	58	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
	59	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
	60	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
	61	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
	62	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
	63	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
	64	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
65	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
記 入 方 法										
<p>1 「購入金額」 購入したときの金額を記入してください。数量が複数の場合は合計してください。ただし「商品」の場合は、り災直前の販売価格を、「原料、材料」の場合は仕入価格を、「製品、半製品」の場合は原価を、「書画、骨とう、美術工芸、宝石類」の場合は社会通念上評価されている価格をそれぞれ記入してください。</p> <p>2 「使用年数」 購入してから、り災時までの年数を記入してください。数量が複数の場合は、平均した年数を記入してください。ただし、「商品、原料、材料、製品、半製品、書画、骨とう、美術工芸品、宝石類」の場合は必要ありません。</p>										